

事務事業計画書兼評価表(A表)

1 事務事業に関する基本情報				平成	26	年度
事業番号	27		事業名	企画一般事業費		
担当課	企画課		担当係	企画振興係		
総合計画に最も関連ある施策	施策	5	地域の個性を活かした魅力と活力あるまちづくり	連絡先	0858-76-0212	
	施策体系	3	観光・交流の促進	事業区分	<input type="checkbox"/> 新規	
	主な事業	各種計画策定、移住定住、魅力あるまちづくり事業			<input checked="" type="checkbox"/> 継続	
予算区分	款	2	総務費	事業実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 八頭町	
	項	1	総務管理費		<input type="checkbox"/> その他	
	目	4	企画費	計画期間	開始	—
	事業	27	企画一般事業費		終了	—

2 事務事業の概要

事業の対象	誰(何)に対してこの事業を行うのか記載。 八頭町民		
事業の目的	誰(何)をどうするためにこの事業を行うのか記載。 八頭町民が八頭町に住み続けたい、住んで良かったと思える町づくりをめざして、各種計画を策定するとともに、地域活性化を図ることを目的とする。		
事業の内容	事業の規模や業務量などを具体的に記載。 第2次八頭町総合計画・八頭町人口減少対策ビジョンの策定及び移住定住の促進、魅力あるまちづくり推進事業、町結婚推進事業等を実施。		
事業の手段	どういう方法、手順で事業を進めるのか、具体的に記載。 計画策定に当たっては、町民アンケート調査や住民懇談会等を実施し、町民の意向を踏まえた計画とする。計画された事業については、町民や団体と協働しながら、事業を推進することとし、進捗管理も行う。		
事業の成果到達点	どんな成果を得たいのか、または、何がどうなれば達成か、具体的に記載。 各種計画の策定。八頭町の人口減少対策の推進。魅力あるまちづくり事業による地域活力の創出。		
根拠法令等	5	1. 法令(義務) 2. 法令(任意) 3. 条例 4. 規則・要綱等 5. なし	法令等名→

3 活動指標、成果指標

活動指標		単位	事業の手段を図るものさし
	A	回	移住・定住の推進(相談会の開催)
	B	事業数	魅力あるまちづくり事業の推進
	C	回	婚活事業
成果指標		単位	事業の成果、到達点を図るものさし
	A	数	八頭町空き家登録物件への移住定住者数
	B	団体	魅力まちづくり推進事業の活用
	C	人	婚活参加者数
D			

4 コスト

区分		単位	23年度	24年度	25年度		26年度		27年度
			実績	実績	目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	A	回	3	3	3	2	2	3	2
	B	事業	0	0	5	6	5	3	5
	C	回	3	3	3	2	2	2	3
	D								
成果指標	A	回	0	7	4	3	4	12	4
	B	団体	0	0	5	5	5	3	5
	C	人	0	7	10	9	10	13	20
	D								
トータルコスト		千円	16,010	14,072	14,510	15,243	19,186	20,084	18,416
担当職員数		人	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
職員人件費		千円	12,300	12,300	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000
事業費		千円	3,710	1,772	2,510	3,243	7,186	8,084	8,406
事業費財源内訳	国庫支出金(交付金・補助金)	千円							
	県支出金(交付金・補助金)	千円	2,816	370	325	228	975	443	1,871
	地方債(借入金)	千円							
	事業収入(使用料・参加費等)	千円					420	441	
一般財源(単町費)		千円	894	1,402	2,185	3,015	5,791	7,200	6,535

事務事業計画書兼評価表(B表)

5 実施活動内容・成果(到達点)

平成 26 年度

実施活動内容・成果(到達点)	実施活動内容(具体的に)
	地域活性化を図るため、第2次八頭町総合計画を策定するとともに、八頭町人口減少対策ビジョンを策定し、町全体の将来像や目標設定を行った。また、婚活事業や移住定住相談会を実施し、移住定住の促進を図った。
	成果(具体的に)
	第2次八頭町総合計画、八頭町人口減少対策ビジョンを策定し新たな町の目標と方針設定を明確にすることができた。婚活事業2回、県外移住定住相談会へ3回参加することで、人口減少対策へ寄与した。

6 事務事業の評価

評価項目	評価点	点数	チェックポイント	判断理由・評価コメント(具体的に記入のこと)
必要性 (町民ニーズ)	20	20	①必要性が高い	人口減少対策に欠かせない事業
		13	②どちらかと言えば必要性がある	
		7	③必要性が低い	
		0	④必要性がない	
妥当性 (町が行わなければならないか)	20	20	①町が行わないといけない	人口減少対策は町が直面している課題である
		13	②どちらかと言えば町が実施	
		7	③妥当性が低い	
		0	④妥当性がない	
効率性 (コスト削減の余地は無いか)	13	20	①効率的である	コストを最小限に最大の効果が出る施策の実施が不可欠
		13	②どちらかと言えば効率的である	
		7	③どちらかと言えば非効率的である	
		0	④非効率的である	
緊急性 (他事業に優先し実施する必要があるか)	20	20	①緊急性が高い	人口減少対策等町が直面している喫緊の課題である
		13	②比較的緊急性がある	
		7	③緊急性が低い	
		0	④緊急性がない	
成果 (目的の達成状況)	13	20	①成果が上がっている	少しづつだが、地域の活性化や移住定住施策の充実は図れている
		13	②どちらかと言えば上がっている	
		7	③どちらかと言えば上がっていない	
		0	④成果が上がっていない	

一次評価	事業の方向性	点数	評価点合計	判定に至った理由
1	1、拡充する	80点以上	86	人口減少が続く中で、若者が定住できる取り組みや、農林業の推進、子育て支援など総合的な取り組みを推進する必要があり、今後一層拡充する必要がある。
	2、現状維持	60～79点		
	3、改善・効率化し継続	50～59点	評価点による判定	
	4、見直しの上縮小する	40～49点	1	
	5、終期設定し終了	30～39点		
	6、休止	20～29点		
	7、廃止	19点以下		

二次評価	事業の方向性	判定説明・意見
1	1、拡充する	町の将来像を見据えた総合計画と喫緊の課題である人口減少対策のビジョンを作成し、町の目標と方針を明らかにし、地方創生への方向性を示すことができた。また具体的な取り組みとして婚活事業や移住定住相談事業の取り組みにより、毎年実績を積み重ねており、今後の事業推進の施策蓄積と活性化とされたい。
	2、現状維持	
	3、改善・効率化し継続	
	4、見直しの上縮小する	
	5、終期設定し終了	
	6、休止	
	7、廃止	

7 課題及び今後の方向性

課題	事業活動に当たり、一番の問題と捉えていること。重点的に手当てする事柄、改善点、工夫したい箇所
	八頭町総合戦略を策定するとともに、移住定住の促進、雇用の確保、子育て支援等を一体的に取り組むことが必要。
今後の方向性	上記課題を解決していくため、次年度どんな活動を展開していくのか
	各種計画の策定に当たっては、具体的に数値目標を設定するとともに、PDCAサイクルによる事業の進捗管理を的確に実施する。